

# 武生中学校校歌

作詞 堀井 磊

一、越智の高嶺の彼方には

波幾千里日本海

巽の空に仰ぎ見る

御嶽の山は巍峨として

その秀嶺の影ひたす

日野の流れの清きかな

三、栄ある歴史偲びつゝ

紫明の天地ながめつゝ

心武生の学舎に

知徳をみかく五春秋

朝日とのぼる向上の

誰百難に屈せむや

五、嗚呼東海に覇を唱ふ

国をになはむ任重く

母校の誉世の光

かゞやかすべき南越の

健児はわれぞ芳ばしく

咲かむ万朶の山桜

二、星霜経りし国府の跡

功は高き藤垣や

三つの川水治めけむ

君味真野の宮所

杣山松を吹く風は

忠義にはやる矢叫びか

四、赤帝焰を息吹く時

熱球宙を飛ぶところ

朔風雪をふゞく時

竹刀火花の散るところ

血潮はわきて青春の

男児の腕高鳴れる